



とよおか

第 49 号

平成22年 7 月20日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



バラづくりに精を出す。アレンジフラワーは奥様の手づくり 丸山吉弘さん(柿外土)

6 月定例会



第二回定例会のようす	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
一般質問・議会活動報告	6～11
委員会だより	12～13
「私の一言」・私がんばっています・編集後記	14



この議会だよりは、再生紙を使用しています



梅雨に咲く

第二回定例会

◎国保税平均で10%上げ

◎火葬場建設、

議員の思いは早期実現

第二回定例会は、六月二日から二十一日までの二十日間の会期で行われた。

今定例会には、専決処分に対する承認案八件、条例改正案二件、補正予算案五件、工事請負契約の締結一件、固定資産評価審査委員の選任同意一件、報告三件、請願・陳情三件が上程された。

承認案八件、工事請負契約の締結、固定資産評価審査委員の選任、報告三件については、開会日（二日）に即決され、他の議案、請願・陳情については、それぞれの常任委員会に付託、審査が行われ、十六日の本会議で議決された。

ただ、この内、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定については、日程上の都合により、開会日に委員会での中審議が行われ、同日中の議決となった。

修正案は否決

国保税条例・

補正予算とともに

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定に関わる修正案は、総務産建委員会に付託されたが、審査にあたっては、昨年同様に社会文教委員会との連合審査となった。

この修正案に対しては、唐澤啓六議員、前沢光昭議員より、修正動議が出されていたために、唐澤総務産建委員長に代わり、川野孝子副委員長が会議を進めた。

本案（村提出案）と修正動議による修正案を平行して審査が

行われた。

本案では、本算定賦課総額を一億六百万円と定め、応能、応益に対する構成割合は、従来の割合を基本とし税率を平均で、十パーセント引き上げて、税額で一人当り五千八百八十八円（医療分と支援金分合わせて）の賦課額とするもの。

修正案は、低所得者、特に職を失った方々の税負担を考慮すべきであり、所得割については、本案を容認し、資産割、均等割、平等割については、二十一年度同率、同額とすべきとし、保険税総額で、四百二十八万九千円を減額しようとするものであるが、このことで構成割合が大きく変わることへの疑問もあり、基本部分を変えるには、国保運営協議会など関係部所での慎重

な議論も必要との意見もあった。
又、国の制度上での問題点や不満も出された。

委員会での採決の結果は、三対三の賛否同数のため副委員長裁定により、修正案を否決、本案を可決し本会議に送った。

本会議では、十対三の賛成多数で本案を可決した。

当初予算では、国保税算定額を一億一千四百万円とし、一人当りの賦課額を五万九千四百二十円、率にして前年比十九・一パーセントの引き上げを見込んだが、前年度の確定を持つての今本算定では、繰越金が見込みより一千五百十万円増えること

となどに加え、基金からの繰入れを当初予算で二千五百万円としていたものを、一千万円増額し、三千五百万円の繰入れとするなどして、賦課総額を八百万円押し、平均の一人当り賦課額を十パーセントの引き上げとした。

然し、医療費の動向によっては、国保運営に行き詰りの可能性がちらつく今、村の国保の在り方はもとより、他の自治体とも足並みを揃え、国の保険制度、社会保障制度の在り方にも及ぶ深い議論の中から、地方から国への強い引き上げの必要がせまられていく。

事業を当面の間凍結するに当り、事務組合職員を二名減員するた

予算特別委員会 火葬場建設凍結に 意見集中

意見集中

予算特別委員会は六月九日に行われ、一般会計補正予算と国保、介護保険、簡易水道、下水道事業の四つの特別会計の補正予算の審査を行った。

一般会計補正予算の中で、特に下伊那北部総合事務組合負担金の減額補正に関連して、多くの不満の意見が出された。
この減額補正は、火葬場建設

事業を当面の間凍結するに当り、事務組合職員を二名減員するために、当初予算に盛り込んだ村負担分、五百四十二万三千円を減額したいとするもの。
火葬場建設事業は、北部五町村が協議を続けてきた結果として、一致して北部地区内への火葬場建設の必要性を認め、二十一年四月に下伊那北部総合事務

組合を立ち上げ、建設候補地の選定、地元説明、交渉を進めてきたが、豊丘村の候補地については、地元の強い反対があったことと、松川の候補地については、受け入れ条件に厳しいものがあった点で、二十二年二月には、両候補地ともに断念し、白紙にもどすことを事務組合管理者（喬木村大平村長）から松川の候補地に伝えられた。
このことが、これから本格協議に入ろうとしていたと言われる松川候補地の地元の感情問題に発展したものと思われる。
これには、松川町理事者サイドの取り組みの遅れを指摘する声もある。
事務組合の管理者側とすれば事態を重んじ、松川町側（候補地）への白紙にしたことに対する理解を、時間をかけてでも求めていくために、「当面の間凍結する。」とした結論に達したと聞く。

審査中、経緯説明をあらためて求めるとともに、議員からは、「今までも経過説明などはあったが、大まかなもので事後説明がほとんどだった。議会への相談、協議なしで事が進んで来た点に、まちがいがあるのではないか。」
「五町村の理事者が同意識で真剣に取り組んで来たのか疑問だ。各々に温度差があったのではな

いかに。」
「住民の多くは、早期の建設を望んでいる。」
「飯田市の状況からみても、一時でも早い建設がなされるべきだ。」
「当面の間の凍結、当面とはいつまで待てばいいのか。」
「選定から一年以上経過している。両方の交渉の経緯を聞くと、断念することもやむを得ないことと考える。すぐにでも次の候補地の選定に入るべきではないか。」
「今までの議員の皆さんに相談したり、協議を重ねて事を進めるといことが多くの部分でなかった事については反省する点もある。今後は、相談し協力をいただきながら進めていきたい。又、この凍結を解くのは、今の段階で一年後とも二年後とも明言、約束は出来ない。今は、松川町の皆さんにご理解いただければ、その上で、事務組合として機能出来るよう組織の修復をし心を一つにして取り組んでいきたいので理解してほしい。」
「この日は偶然にも、松川町議会の「在り方研究委員」の五名の議員の皆さんが当議会の予算特別委員会視察のため、傍聴されている中でのやり取りであったので、松川町議会の皆さんにも多少は、我が議会の思いが理解されたと期待感を持っている。」

“ふるさと豊丘応援隊”（ふるさと納税）による寄附金は、21年度延べ43件で、総額1,355,000円が寄せられた。
22年度の活用事業を定めその財源として充当する。

・高齢者インフルエンザ予防接種負担助成	充当額	170,000円
・有害鳥獣対策	充当額	70,000円
・松くい虫防除対策	充当額	165,000円
・景気対策・雇用対策等商工業振興対策	充当額	950,000円

—— 議会としても、有難く厚く御礼を申し上げます。 ——

火葬場！

予算特別委員会の 質疑より

信濃グランセローズ 飯田へ招致

菅沼議員 信濃グランセローズ
招致の負担金とは何か。
総務課長 七月十七日飯田へ招
致し豊丘、高森の少年野球チー
ムとその保護者の入場料、選手
への地元特産品を贈る他経費を
負担するもの。

空屋改修、 現在二ヶ所で調整中

松村議員 事務臨時雇用賃金と
は何か。
総務課長 北部事務組合は、三
人体制から一人にした。その為
繁忙期の臨時雇用の保険料を、
村が一次立替えるものである。
丸岡議員 施設整備請負費はど
のようにするのか。
総務課長 廃屋解体工事は、地
元主体とし、村は補助金を出す。
下平(喜)議員 繰越明許費に空
屋対策費が計上されているが、
どのようなことか。

総務課長 現二ヶ所の空屋改修
について調整中である。
片桐(秀)議員 入居者決定は、
地元とすり合わせをするのか。
総務課長 契約事項は、自治会
へ入ることを条件としてある。

松村議員 県の補助金の、景観
協定に該当しないか。

総務課長 景観協定イメージと
して、農山村廃屋景観協定の手
続はむずかしい。

片桐(義)議員 庁舎北側の壁の
タイル修理の見通しは。

総務課長 築年数の経過と共に
今後修理の頻度が高くなる。

片桐(秀)議員 電算事務委託料
とは何か。

事務局長 国民投票法施行に伴
い、受付システム(十八歳以上
名簿の整備)の構築。

敬老会、区単位で 行う場合は補助金 を出す

川野議員 敬老会を伴野区で行
うとあるが、村の考えは。

住民課長 村は従来通り開催す
る。伴野区は、自ら作る地域づ
くりの一環として取りくみ、こ
れに補助金を出す。

片桐(秀)議員 他の地域から、
開催の申し出があれば認めるか。

住民課長 個の自治会は無理と
思う。区単位では認めてゆく。

丸岡議員 ボランティアの会が
行う、昼食サービスのとらえ方
は、社協の音頭とりで検討する
予定と聞いている。

片桐(義)議員 村であれ、区で
あれ整合性のあるように検討が

必要と思う。

村長 千三百人を越す、高齢者
の方々に満足頂ける事は行政の
課題である。先ず伴野区で実施
され、将来の方向性を出したい。

菅沼議員 下段の敬老会参加率
は十七〜十八%、上段では三十〜
四十%、この事から村と地域と
が一年置き開催が、参加率を高

め地域も元気になり、予算にも
継がると考える。

松村議員 二重補助にならない
よう方法を考え前進あるのみ。

片桐(秀)議員 伴野区で手を上
げたことは、地域を元気にし、
コミュニティを作り上げる。前
向きによい要綱を作られたい。

豊丘村

「キャラクター」「ロゴマーク」入選作品

(作品名) だんQくん
(作者) 金津 博
(かなづ ひろし)
(新潟県上越市)

(作者) 安富 勝弘
(やすどみ かつひろ)
(熊本県熊本市)



早期に必要だ

火葬場の建設事業 当面凍結となる

片桐(秀)議員 北部事務組合負担金減額は何故か。

環境課長 火葬場の事務作業を当面凍結することにより、予算計上を減額とするもの。

菅沼議員 火葬場の建設事業が凍結になった経緯の中で、五町村事業執行者でありながら「事務組合を監視して行く」とした六月四日付地元紙の記事は、どういうことか。



火葬場凍結により事務作業を縮小

村長 理解しがたい言葉である。組合管理者の立場から、誤解のない、真摯な気持ちで、信頼関係を深めるよう努めたい。

菅沼議員 今後の見通しは。

村長 今の段階では、なんとも言えない。

川野議員 火葬場の凍結で予算減額は今後継がらない。五町村の人達が水面下で盛り上がり

を計るに、予算計上が必要。村長 多くの皆さんの協力を頂いて、一日も早い選定が出来るよう、雰囲気作りを計りたい。下平(豊)議員 当課題は組合議

会への報告がなく大変不満である。今後は理事者と同じレベルで議会も関わられるよう、議会は注文をつけ、予算の減額を承認した。

前沢議員 防災費とは何か。

総務課長 五地区の水防倉庫の修繕料。コミュニティ事業(五区)の助成金。余剰となった軽便ポンプを有事に備え、地元管理に共する車輛維持費の交付を毎年するもの。

片桐(秀)議員 コミュニティ事業(宝くじ)の助成金は政府の事業仕分けの対象にならないか。

総務課長 今年度分はすでに内示があり心配ない。が今後は注視が必要か。

片桐(義)議員 コミュニティ事業は、地域からの要望対処に配慮されているか。

総務課長 各区はもちろん、村としてもこの助成事業に手を上げて行きたい。

国保税徴収率の低下は？

唐澤議員 国保税の徴収率は、住民課長 二十一年度九八、二八%である。

丸岡議員 村税の徴収率は、総務課長 住民税九九、六%で前年比プラマイ〇、固定資産税

九八、九%で前年比〇、七ポイント下がった。

唐澤議員 住民税に比べ国保の一、三%の差の要因は。

総務課長 単税の積み上げ、住民税がなくても、固定資産税、国保税の発生はある。単税が国保のみかの徴収率の差と思われる。

唐澤議員 国保税は所得がなくとも、世帯割、均等割で賦課される。徴収率九八、二八%は納税の厳しさが伺えるが。

総務課長 国保税のしくみとして、固定資産税に相当する部分からも徴収するので、認定がなくて国保が未納だというのは如何か。

唐澤議員 先の一、三%徴収率の違いは何処か。

総務課長 比較的大口の方が固定や国保におられるのでは。

原議員 特別調整交付金の減額は何故か。

住民課長 予算化しても、最近の政府では確定でもないのに予算計上はしない旨、県の指導で減額とした。

唐澤議員 県は厚労省からの施策に市町村へ指示するのか。

住民課長 担当者会議で国もこの枠を減額の方角ゆえ、村も今回減額した。

しつもん



質 火葬場凍結の説明責任は 答 五町村の足並を配慮して

片 桐 秀 人

質問 火葬場建設の凍結は理解しがたい。説明責任はどうか。

村長 松川町郷原について昨年からは事務局で打診して来た。事務組合で郷原地区へ検討委員会立上げを要請して来た。色々要望があったがそれが自治会の一役員の立場か地区全体の要望かはつきりしないが、道路開設やその他の条件を総合的に判断する中で、大方が止めた方がよいとの意見で、検討委員会

か。奥山副村長 この問題はよその首長さんがかかわっている課題で村の広報で明確な表現が適切かどうかの面もあり、多少不明確であると言うことはお許し頂きたい。
村長 今年豊丘が管理者であり、この連合体をどう進めていくかを第一に考え、相手を傷つけるようなことは差し控えたい。

場の場合、当時の管理者が、五町村のそれぞれの発言内容を報告し白紙に戻したいと発言した。地元では「せっかく反対者を説得して、受入れる気持ちになった矢先納得できない、よそに作ることは当然納得できない」と強い意見があった。その後首長副村長も含めた幹事会で、五町村の足並が乱れてはまずい、郷原はあきらめた方がいいとの結果になった。
質問 検討委員会には松川町の町長は出席されていたか。
村長 五町村の連携の枠組みが外れないよう気を遣っている部分でお話し頂きたい。
質問 この経過について十分な説明責任を果たしたと思う



対応ができない飯田市火葬場

議会活動報告

四月～六月

◎四月

三日 入園式

四日 消防団任命式

五日 南北小学校入学式
中学校入学式

六日 議会だより編集委員会

七日 土木懇談会（総務産建）

八日 全員協議会

九日 議会だより編集委員会

十日 議会だより編集委員会

十一日 総務産建委員会

十二日 社会文教委員会

十三日 北部ブロック正副議長・事務局長会議

十四日 北部事務組合議会

十五日 リニア総決起大会

十六日 水防訓練

十七日 リニア協議会要望活動（議長・東京）

十八日 十三～十四日 北部B正副議長・事務局長研修

十九日 十五日 議会・だいち懇談会

二十日 十七日 総務産建委員会

二十一日 十八日～十九日 町村正副議長研修会（東京）

二十二日 二十五日 全員協議会・議会運営委員会・社会

二十三日 文教委員会

二十四日 二十八日 広域連合全員協議会

◎五月

六日 北部事務組合議会

七日 リニア総決起大会

八日 水防訓練

九日 リニア協議会要望活動（議長・東京）

十日 十三～十四日 北部B正副議長・事務局長研修

十一日 十五日 議会・だいち懇談会

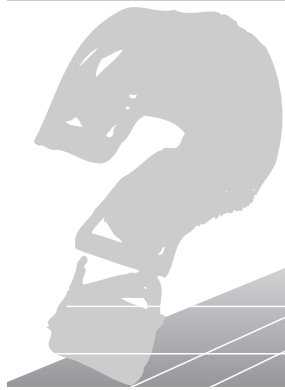
十二日 十七日 総務産建委員会

十三日 十八日～十九日 町村正副議長研修会（東京）

十四日 二十五日 全員協議会・議会運営委員会・社会

十五日 文教委員会

十六日 二十八日 広域連合全員協議会



いっぱん

質 村営火葬場は出来ないか

答 五ヶ町村連けいの取り組みを

川 野 孝 子

質問 雹害から三年目の今年の春も又、凍霜害の被害が発生してしまった。村として支援策はあるか。

村長 秋まで成長を注意深く見守り、状況がはつきりしてくると思うので行政の支援が必要という時には関係機関と相談し、支援策を講じていきたい。

質問 村民の皆さんに元気を取り戻してもらおう様な「ふるさと創生基金」の使用途について何か考えはあるか。

村長 豊丘村の活性化、ふるさと創生のための基金ではあるが、現状の中で、使用途の意見を聞いておらないので又、そういう高まりが上ってくれば皆さんで検討していきたい。

◎火葬場問題凍結と今後の取り組みについて
質問 松川町の郷原地区の初めての検討委員会が松川町で開かれたと思うがこの時に地元松川町長が出席しなかったと聞くが重大な事と受け止めるので本



凍霜害にみまわれた梨

当かどうか聞きたい。

副村長 喬木の村長が出席をお願いしたが出席していただけなかった。

質問 五ヶ町村の取り組みは大切だがこの先何年も火葬場建設が出来ない時は豊丘村独自で火葬場は出来ないか。

村長 北部五ヶ町村連携で取り組んできたので今後もその組み合わせの中で精いっぱい努力していきたい。

◎六月

一日 広域連合議会臨時会

二日 第二回定例会 開会

三日 全員協議会

四日 議会だより編集委員会

五日 サツマイモ定植作業

六日 総務産建委員会

七日 社会文教委員会

八日 予算特別委員会

九日 松くい虫空中散布

十日 一般質問

十一日 第二回定例会 再開

十二日 全員協議会

十三日 消防団ポンプ操法大会

【請願・陳情】

●村凍霜害対策の関する請願

<主旨採択>

●長野県地方税共同化に関し県に意見書を提出することを求める陳情

<採 択>

●農業農村整備事業の推進について

<採 択>

質 凍霜害対策は戦略的に取りくめないか

答 有効な手段を考えて行く

菅 沼 敏

質問 昨年続きの凍霜被害はほぼ同じ地域で、予防策が打たれなかった樹園地である。当村は、なし、りんご、柿、ももの順で四千六百万円余の被害が見込まれた。高森町は防霜ファン設置の少ない、なしを中心に柿で約一億円。一方松川町は被害額の提示がない。何か。当地域の樹園地は、ほとんどで早い年代から防霜ファン設置組合を組織して取りくんで来た結果と思う。豊丘村の特産果樹の維持発展を図るとき、凍霜害対策は戦略的に手段を講ずる必要があると思う。村長の考えを伺う。

があり、粘土状の土砂が降雨の度に流出。伊那市から太平洋まで長期間、白濁した流れになっている。この影響で水生昆虫の極端な減少により鮎を始め全ての漁族の絶滅の危機にある。復旧工事は七年の長期と聞く、一日も早い復旧工事が成されるべきと思うが村長の考えを伺う。

村長 JAの防霜ファン設置説明会では、農家が本気で取りくむ姿が伺えない。全面的に行政で設備をモデル的に、特定地域にやる事は如何か。農業の実態が厳しい時である、有効な手段を考えていきたい。産建課長 農家が防霜ファン設置する場合、元気農業支援事業の活用ができる。

村長 広域連合会議の議題とし国、関係機関、地元国会議員に早急に対処するように予算付を強く要請する。

◎白濁の天竜川対策を急げ

質問 下伊那漁協が漁業権を持つ天竜川。平成二十年六月、三峰川の支流で土砂崩落



凍霜害対策に有効な防霜ファン

質 子宮頸がんワクチン公費助成は？

答 前向きな取り組みを検討している

片 桐 眞理子

質問 高齢者が快適に暮らせる為に、高齢者標準に合わせる事。たとえば、書類手続きの簡素化や心配りのある行政サービスが大事である。また健康については歩いて行ける場所で日常的に運動習慣を身に付けられれば健康寿命を延ばし医療費の削減にもつながると思うが、今後どう充実していくのか。また加齢による身体機能の低下で免許証を返納せざるを得なくなった場合は、自由な行動が妨げられ意欲も失せる。安心して返納できる交通手段を確立することが必要である。その為のニーズ調査が必要と思うが、どう考えるか。



手続き等に心配りのサービスを

住民課長 高齢者の集まり等を活用して体操教室を実施し地域に出向いているが今後も声をかけてほしい。ウォーキングを中心としたメニューも考えている。第五次介護保険計画の中で、交通問題についての部分も含めて調査する計画がある。

◎がん検診率の向上とワクチンの助成について

質問 無料クーポン券事業の取り組みの成果。その他のがんの受診率向上に

むけての考え。子宮頸がん予防ワクチンの公費助成についてどう考えるかを伺う。

住民課長 受診者がなかった二十代がクーポン券により十五人が受診し若い層が増加した。大腸がんの増加に伴い受診率も増加している。前立腺がんが急増している。積極的に呼びかける。子宮頸がんワクチンの助成については接種料金の補助について検討している。

質 施設整備事業でのテニスコート案は
答 体育施設全体面からオムニコート

原 健 治

質問 今年三月後半から四月中旬にかけて、温度が一度を下回った日が十日を記録。中でも三月三十日にはマイナス三、四度四月十七日には果樹の花の上に雪が積もった。出荷段階になつての不安が農家の悩み。村としての支援の考えは。

村長 深刻な園の実態を見る中で、農協とも相談し支援の対応を考えてまいりたい。

質問 北部ブロック議員決議によつて県への要請をしてから十五年。山吹地区に大きな看板も立てたが期成同盟会の取り組みに加え、村に担当職員を置き、県との接触、地域連携を強め架橋の必要性のアピールを。

村長 早期実現に向けて二十年十月、八王子交差点。今年五月に山吹に看板を設置した。県の建設部長に期成同盟会単独で要請行動を近日中に行う予定。担当職員については顧問、相談役等も視野に活動を進めた

い。

質問 レクリエーション施設整備事業で現在考えられているテニスコート案の説明を。

教育長 多目的広場を含め、施設全体を今後前向きに検討する中で、村民体育館内でテニスが行われている実態もあり、現在の問題を解決すべく、全天候砂入り人工芝のオムニコートとして中央二面に夜間照明を四基設置。南側の山については将来構想として、体育施設全体への出入りを容易にしたり、バスの乗り入れを可能にし、駐車場も考えたい。



利用率の高い喬木村のテニスコート

質 子宮頸がんワクチンに助成を
答 積極的に進めたい

前 沢 光 昭

質問 子宮頸がんは二十代〜三十代の女性の発症率の最も高いがんです。子宮頸がんはウイルス感染を原因とする病気であり、唯一予防可能ながんということ。欧米各国では早期接種による予防が行われています。画期的なワクチンが日本でも承認されたが、非常に高価で効果的とされる二回〜三回の接種で四万〜六万円全額負担しなければならぬ。国会でも質問され予防接種法の高い位置での議論もされている。小学校高学年から中学生までの接種が効果的である。いくつかの自治体で公費助成が始まっているが豊丘としてはどう考えるか。

村長 病気の予防、早期発見の観点、また専門家の間でも研究が始まっているということとで成果のあるものについては積極的に進めたい。

住民課長 課内での事業、課内での接種料金の補助について検討をしていきたいと考えている。

◎地方税共同化事業について
質問 長野県は、地方税の大口滞納者を想定した滞納整理



子宮頸がんワクチン早期接種で予防を

質 凍霜害防止の抜本的対策を

答 関係機関と協議、前向きに検討

唐 澤 啓 六

質問 一昨年の雹害以来、三年続きの気象災害は、本村農業とりわけ果樹農家に大打撃を与えている。気象災害による農作物の被害を最少限に食い止めることは可能であり、凍霜害も例外ではない。この際村は従来の枠にとらわれず抜本的な防止策と農業振興策を講ずるべきである。

①霜ガード（事前散布剤）及び燃烧資材に対し、購入費用の一部を助成するべきと考えるが。

②多額の投資を要する防霜ファンについては、国の補助事業が今年限りということであり急いで取り組みを進めると共に、村単独でも事業の継続を図るべきと考えるが。

村長 ①次年度予算編成に向けて、関係機関と協議し検討していきたい。

②国の事業は1/2の補助であるが（村が）上乘せすれば、農家も設置し易いのでJ.A.・議会とも支援について相談していく。

産建課長 （来年度以降、国の補助事業が無くなった場合も元気農業で防霜ファンの設置を考えていきたい。とび地の

園で共同設置できないケースについては、審査会で検討してもらい新しい方向を見出ししたい。

質問 元気農業では補助額の上限が五十万円であり、上限額的大幅引き上げにより農家負担の軽減を図るべきと考えるが。

村長 前向きに相談してまいりたい。※口蹄疫の防疫対策について万全を期すよう要望しました。



凍霜害予防資材「霜ガード」の在庫

質 住宅計画の多額な公費投入に疑問

答 不特定多数を対象にしている

丸 岡 茂

質問 人口増対策でもっとも大切なのは、住民が住みよさを実感し胸を張って生きる村をつくることではないか。

村長 地域の受け入れ態勢と転入者の地域貢献も大切だ。

質問 戸建賃貸住宅を立派にするのは、子育て支援のためと言われる。現村民は皆が恵まれた住環境で子育てをしている訳ではない。改築等も自分のお金だ。これに目を向けず、こだけ優遇してよいのだろうか。

副村長 事業の目的として、子育て支援を目指している。

質問 収支見込み資料が出されるたびに違うので、庁内でどのように検討されるのか心配だが、

豊丘式戸建賃貸住宅は多額の経費を掛け、実質的に入居者の持ち家状態として公共性を失わせている。村の説明では今年度計画は、一棟につき七、八百万円が家賃で回収できない、つまり入居者負担の軽減でその分公費を投入することにかなりそうだ。重要な政策で相応の支出は当然だが、とても多額過ぎる村民は理解しないだろう。

副村長 国の交付金もあり、村の一般財源使用は少ない。



戸建賃貸住宅の建設は慎重に

質問 交付金は村へ交付される村民みんなのお金。これを一握りの人に使うというのは基本的に誤り。改めてほしい。

入居条件はいつも「若者で子供あり」で、豊丘がそういう人しかほしがらない印象を、村内外に与えかねない。大事は老若男女みんなでの村づくり。ときにはこの条件を外してはどうか。

村長 どちらかといえば若者の方が地域で歓迎されるのではないか。



緊急経済対策での水路改修

質 多額(四億円)の繰越金は妥当か
答 総事業費八億余の施策を実行中

下 平 喜 隆

質問 国は不況回復の為に昨年度、緊急経済対策、きめ細やかな経済対策の交付金として二億円近い金を村へ送り込んで来た。これは不況による民間の需要不足を公共事業で補う為に、国から歳出されたものだ。

水路改修等を中心に増額された施策もあるが、もともと予定していた施策の財源をこの緊急経済対策へ付け変えただけに終わったものもある。
 失われた二十年と言われるこの不況

の原因の一つは、預貯金の五割近くを保有すると言われる高齢者に対して国が将来における安心出来る社会保障制度を示さない為に、その預金を使わない。つまり市場に流通しない。結果個人消費が落ち込み景気は回復しないと云える。

つまり経済波及効果を創出するため交付された交付金を、繰越金「貯金」へ廻した事になると思うが？
 村長 意見の主旨はもつともだ。村としても他町村に劣らない八億円余の事業を積極的に取り入れ実施していると自負している。

質問 村の中長期計画にある人口増問題にしても、もつと様々な角度からの施策を同時に進めるべきと考える。時代の移り変わりに対応しながら優先順位を正しく把握し、正確に対処する能力が職員に求められている。

役場職員の資質の向上の為に民間のコンサルタントを導入している近隣市町村もある。役場庁内の組織職員の意識を改革する為のオペレーションに一步踏み出してみているどうか？
 村長 同感である。庁内で具体的に検討して行きたい。

質 固定資産評価審査委員会共同設置は
答 現体制を見直す方向で進めたい

片 桐 義 憲

質問 県の地方税共同化に関する検討の中で、固定資産評価審査委員会の共同設置についても今後の検討課題とされている。

評価委員は、固定資産の評価の適正に努めるのが任務、一方評価審査委員会は、評価に関する不服を審査、決定する機関である。評価した事務局が、その不服に対し審査することは、公平性、透明性に問題がある。行政に対して、住民の信頼性を確保する為にも、評価審査委員会の共同設置を提案したい。村長はいかがお考えか、又広域での協議についても伺う。

え、又、激しい労働状況も続いている。平日の時間内に役場に行きたくても行けないとの声を聞く中で、より使い勝手を良くする為に、役場窓口の時間外開設についてのお考えを伺う。
 村長 使い勝手の良い役場ということ は基本的に大事。今後も住民サイドに立つ勤務体制で住民サービスを図っていく。苦痛の意見があれば、親身になって対応していきたい。

村長 固定資産評価審査委員会は、中立的立場から、不服の審査及び決定、その他の事務を行うもので、現体制だと、指摘された様な心配な部分があると感じた。何か問題が起こった場合には率直に、はたして公平な議論ができるかどうか？改めて問題意識を持つた。今後は共同設置をして、広域的観点又、専門的観点から審査できる方向が望ましいとの思いをしている。
質問 最近共働き家庭も増



窓口の時間外開設は近隣町村では行われている (松川町)

だより』

総務・産建設委員会

委員長 唐 沢 啓 六



凍霜害被害状況を視察

今定例会では、請願一件・陳情三件が当委員会附託となりました。内容と審査結果は次の通りです。

一、村凍霜害対策についての請願

請願者は河野市の沢の滝川利秋さん、紹介議員は菅沼敏議員
請願内容は、①来春四月中旬村内何ヶ所かで最低気温の測定をし、村のデータ（山田観測所）との違いを調査する。②その結果を有線放送等で周知する。の

二点です。

現在、村の凍霜害対策本部では気象情報と共に村内四ヶ所で計測している気温から降霜の予測を判断しています。農家も、村のデータと自園との温度差は多くの方が理解しているのではないかとといった意見も出され、趣旨採択としました。

二、長野県地方税共同化に 関し県に意見書を提出す ることを求める陳情

陳情者は長野県税金オンブズマン代表委員の毛利正道氏です。
陳情主旨：地方税の滞納整理のため県と市町村では来年四月からの業務開始を目指し、検討委員会で作業を進めている。住民の暮らしの困窮、中小企業の経営難の広がりの中で地方税の滞納整理は慎重かつ丁寧に行う必要がある、検討されている組織が滞納整理を行うことは、強権的で人権侵害の恐れがある。よって①地方税の共同化に反対



予算措置の増額が必要な基幹水利施設

三、農業農村整備事業の 推進を求める要望

要望者は、小洪川土地改良区理事長の下岡正寿氏。
主旨は：昨年の政権交替による農業政策の大転換で、二十二年度の農業農村整備予算は対前年の三十七%と大幅な減となっている。このような状況下において、竜西及び小洪川土地改良区の農業用基幹水利施設の補修、改修の計画的な整備への予算措置等の要望を県へ送付するよう求めるもので、全会一致採択しました。

する。②仮に実施する場合は、併せて公的なオンブズマンを置くなど、適正公平な運用に努め、人権侵害を生まないための措置を盛り込むべきである。

以上二点についての意見書を長野県に提出するよう求める。
審査の中で、陳情項目の①と②は矛盾するのではとの意見が出され、陳情者の考えを聞く中で②項の要請をする方向で、部分採択としました。

『 委 員 会 』

社会文教委員会

委員長 丸 岡 茂



使用不能な現テニスコート

テニスコート改修に同意

林原多目的広場のテニスコート改修案は、研究等が不十分として、予算（事業執行）を凍結してまいりました。反対もありませんでした。反対もありませんでした。先の委員会や委員協議会で、教育委員会の研究結果等を検討した結果、次のように必要性を認め改修着手に同意しました。

◎テニスクラブ（三十人、増加傾向）は現在村民体育館を利用しているが、体育館の利用率は

高く、他と競合がある。

◎村民のスポーツ振興の検討が緒に就き、テニス愛好者の更なる増加も期待できる。

◎近隣町村では皆、全天候型のコートが整備されている。

◎中学校の部活は、一定の時刻後社会体育の活動に移行する。その指導にクラブが期待され共に使えるコートが必要

◎中学校の部活は、一定の時刻後社会体育の活動に移行する。その指導にクラブが期待され共に使えるコートが必要

見がありましたが、スポーツの拠点として現地改修の考えを了承しました。村民の健康づくりや連帯の醸成に、スポーツの環境を整えるのは行政の責任。テニスコートはそれに必要な施設と認めます。

あさぎりの郷を訪問



高森町と共同設置のあさぎりの郷

高森町にあるあさぎりの郷の内、デイサービスセンターや短期入所施設などは、高森町と共同設置、対等利用するとして建設費地元負担分の四十％・一億四千万円を豊丘村で負担しています。

昨年度、豊丘村民が占めた利用割合はデイが十四％、短期は利用者数で二十一％利用日数で三十六％と高くはありませんが、今後とも豊丘村民が頼れる施設運営を要請しました。

シリーズ「私、がんばっています」

今回は描くことが好きで、定年後水墨画を始め、更には作品の裏打や表装までやってしまおう。大変意欲的に取りくむ、下市場の小澤絃人さんを紹介いたします。

小澤さん宅は、伴野たんぼのバス停近くで、奥様とお母様の三人暮らしである。

お宅を訪ねると、玄関に水盤の盆景が気持ちよく迎えてくれた。飾床、床の間には、水車小屋や



「田植え」「稲刈り」

私が高今まで、稲作工程で手伝ってきた事です。お恥ずかしい話ながら、あまり手伝っていないのが実情です。

私の一言

今年、「田起し」「代掻き」に挑戦して見ました。父に手ほどきを受けて耕運機を使用し実際に起こして見ました。

忘れたくないもの

木門 酒井 信好

最初は、なかなか上手いかず、同じ所を行ったり来たりでしたが、時間の経過と共に、多少上手になりました（父の一言「まだまだ修業が足りぬ」。端から見ていると簡単と思えた作業でも、実際に自分自身で経験して見ると、見ると、聞くでは、大違い。不器用な私にとっては、やはり「経験を積むしかない」と言わざるを得ないものでした。ひと休みの時、父が稲作に關する思いで話をしてくれました。昔は、化学肥料がなかったで、草刈で出た草を一年掛けて腐らせたものを、肥料として使用したんだ。わずかな量

加し手ほどきを受ける。その後、八幡の水墨画教室に数年通い作品が少しずつ増えて行った。水墨画は、画材の「麻紙」の白さを如何に残し乍ら、墨一色の濃淡で描いてゆく。その絵筆の運び方で墨が走ってしまい一気に描けない。完成迄には二、三週間をかける。描き終えた作品は、必ず裏打が必要であった。作品が出来上がる度に表具屋さんに依頼することに。この費用が案外痛かつ

た。どうせなら自分でやっつけてしまおう。もうすぐ古希を迎えるが、友人知人から軸装の依頼が舞い込んだりするが、水墨画教室に通い、描く楽しみを増やしたいと思いを語ってくれました。



仲間と張り替えに精を出す小澤さん

編集後記

▼季節は梅雨、降ったりやんだりではつきりしない天気。はつきりしないと言えば火葬場の問題、首長間の意見の食い違いか、白紙撤回された。誰もが早期実現を望んでいる再考のうえ早急に話し合い願えないものか。松川町では「単独でも造ろう」との話もあり、豊丘でも「昨年度の繰越予算四億円を利用して村単独で造ったかどうか」との意見も一部の議員間にある。▼現議員の任期も一年を切り、ようやく議員定数や議員報酬など、議会のありかたについての話し合いがされようとしている。定年退職者、自営業者のみならず、志のある若い人にも出てもらいたい自分の将来は自分達が決めるような環境にしなければいけない。この号が出る頃は、参議院選挙も終わり国会の勢力分野も確定していると思うが、国会議員削減も含め無駄の徹底排除、経済の活性化による増税を図り、消費税アップはなるべく避け、なお一層の地方分権を進め、紐の付かない交付金増額を望むものである。